

多様性と自立

杜陵高校創立100周年

◆ 上 ◆

盛岡市上田の杜陵高(三田正巳校長、生徒431人)は12日、同市内で創立100周年記念式典を行う。全国で初めて単位制を導入した本県定時制通信制のセンタースクール。一人一人の多様性を尊重し、自立を支え続ける学びの歩みと未来を見つめる。

中学校には、2年生のマイドルの映像を見たり。昼ラソン大会から1年以上、夜逆転の日々で「親に迷惑通えなかった。集団行動やをかけた」。実家の壁には共同生活にどうしてもなじめなかった。最初の高校は、応援歌練習があった入学1日目で「無理だ」と退学を決意した。

「杜陵高に入らなければ、今の自分はなかった」。八幡平市や盛岡市に事務所を構え、映像・デザイン制作を手がけるギヤルドブレイ

ン社長の中坪久人さん(46)は言い切る。学校に行けない間は、家でゲームをしたり、ア

頭し、ドラマやテレビCM、

人生の支え

単位制 自信得る力に



アイドルの映像にも熱中した。表現の仕事につながる思いをため込む、前向きな時間になった。デザインの世界に関心を抱き、デザインを教える

アイドルの映像にも熱中した。表現の仕事につながる思いをため込む、前向きな時間になった。デザインの世界に関心を抱き、デザインを教える

「人生で順調にいったことはなかった。でも、しゃがんだ時期がある方が、きつと跳べる。これと思って突き進めば、応援してくれる人もいる。」

杜陵高の後輩を撮影した映像を見つめる中坪久人さん。母校で得た自信が人生の支えとなっている

杜陵高 1924(大正13)年、市立盛岡夜間中として県立図書館(当時)の一部を借りて授業開始。43(昭和18)年に盛岡市新庄に移り県立杜陵中。48年杜陵高。68年に県の定時制通信制教育のセンタースクールとなり、88年、必要な科目を選択して学ぶ単位制へ移行。2009年に奥州校を設置した。「熱意・誠意・創意」を校訓とし、これまで約1万5千人が卒業したとされる。